

HAPPY
NEW YEAR!

SASAKI 2020
DENTAL FAIR

Dental Fair

SASAKI 2020



とき **5/16 SAT** 16:00~20:00 • **17 SUN** 9:00~17:00

ところ **OMMビル 2F** セミナー会場/展示会場
大阪市中央区大手前1丁目7-31 ☎06-6943-2020

併設セミナー案内

いずれも人気セミナーですのでお申し込みはお早めに!!

5/16

ホール G・G2



歯内療法専門医院 院長(中央区銀座)
ペンシルバニア大学非常勤講師

石井 宏先生

時間▶ 16:30~19:00

受講費▶ 6,000円(税込)

定員▶ 100名様

エンド 歯内・歯周病変への対応

根尖性歯周炎は根尖部に病変を作るだけではなく、歯根側や多根歯における分岐部の組織周辺も侵すことがある。そのような場合、最終的に根尖性歯周炎は歯肉溝や病的ポケットと交通し、その状態をいわゆる「エンド・ペリオ病変」と呼ぶ。そしてエンド病変とペリオ病変、2つの別の病変を同時に発症した歯牙とは治療のアプローチが異なることが多く、その成り立ちや治療法を整理することは臨床で極めて重要であり、当該歯の運命を決定づけることにもなりかねない。本講演ではそれらの事項を整理するとともに、歯根端切除術に歯周治療における再生療法をそのまま応用しようとする潮流に対して、現時点での臨床的な到達点としてその選択が妥当なものなのか、考察する。

5/17

ホール G・G2



ナカエ歯科クリニック 院長(神奈川県)

前畑 香先生

時間▶ 9:30~12:30

受講費▶ 4,000円(税込)

定員▶ 100名様

デンチャー 3時間で学ぶ総義歯治療 ~印象と咬合~

総義歯治療において、治療の鍵を握るのは「咬合」である。しかしながら、解剖学的ランドマークを含んだ概形印象採得は、総義歯製作工程の始まりとして、決しておざなりにすることができない。基本的に総義歯の印象は、印象目的が異なる概形印象と精密印象から成り立つ(総義歯印象=概形印象+精密印象)。そのため、「概形印象採得に失敗したから精密印象採得で挽回する」ことはできない。そして、解剖学的ランドマークが不明瞭な印象から、個人トレーや咬合床の製作をすることは難しく、結果として義歯製作に影響を及ぼすと言っても過言ではない。本講演では、総義歯治療に必要な印象と咬合が何かを解説し、解剖学的ランドマークを含む概形印象採得法として、無歯顎模型を使った「アルギン酸2回法印象」のデモンストレーションを行う。

5/17

ホール G・G2



医療法人Natural Smile
ふじなみ歯科医院 院長

西山 敦先生

パンチャデンタルラボラトリー 代表
歯科技工士

枝川 智之先生

時間▶ 13:30~16:00

受講費▶ 4,000円(税込)

定員▶ 100名様

補綴 補綴修復治療を成功させる歯科医師と歯科技工士のデンタル・デジタルコミュニケーション

症例に応じた完成度が高く理想的な補綴修復治療を達成するには、その症例の病因学的確な診断とリスクファクターの分析から長期安定が可能なゴールをイメージした治療戦略を実践する事が重要であり、その過程において担当する歯科医師と補綴物製作に携わる技工士が情報を共有し、互いの技術を提供し合う必要があります。一方、現在の歯科医療においてCAD/CAMは歯冠修復や欠損補綴をするうえで必須技術となっています。そのベースとなるデータの収集はデスクトップや口腔内スキャナーによる口腔内情報のデジタル化から始まり、デジタルデータがもたらす恩恵は情報の再現性、劣化のない保存、簡便な利用・通信が可能となるなどです。今回の講演では日常患者に補綴物を提供するにあたりドクターが技工士サイトに渡さなければいけない情報・口腔内処置とは何か? その上でドクターがテクニシャンに望む事は?そして現時点でのデジタル化されたそれらの情報をドクターとテクニシャンが共有する事で得られる利点。また依然必要とされるアナログな部分を実際のいくつかの症例の治療ステップを通して皆様と共賞・考察したいと考えております。

5/17

会議室



総合内科専門医
法務省矯正局非常勤医師

おおたわ 史絵先生

時間▶ 10:00~11:30

受講費▶ 5,000円(税込)

定員▶ 200名様

医療/健康 病まざる老けざるホンマの医学

あなたの常識は間違っている!?だれでも簡単にできちゃう健康のためのちょっとしたコツや、意外と知られていなかったり勘違いされていたりする医学の話をして。これを聞けば楽しく健康になれちゃう講演会です。

〈プロフィール〉

東京女子医科大学卒業。大学病院、救急救命センター、地域開業医などを経て、現在は法務省非常勤医師として刑務所の受刑者たちの診療にあたり矯正医療に取り組むいわゆる数少ない日本のプリズンドクターである。また実母を処方薬依存症で亡くした経験をもとに、依存症問題を考える会 knock on the door を立ち上げ、依存症に関する正しい知識を広める活動を行なっている。テレビなどメディアでの活動も評価が高く、著書も多数。自叙伝エッセイ「女医の花道」「女医のお仕事」はベストセラーとなっている。

5/17

会議室



株式会社プラスアルファ代表
歯科衛生士

黒川 綾先生

時間▶ 14:30~16:30

受講費▶ 3,000円(税込)

定員▶ 150名様

メンテナンス 患者の行動変容を伴った意識改革の実践 ~歯科衛生士として治療から予防をサポートする~

超高齢社会を迎えた日本において口腔機能を維持することは健康寿命にも良い影響がある。だが未だに一般生活者の口腔に対する意識は低く、SPT、メンテナンスはおろか、基本治療への来院も中断しがちであるとの相談も多く受ける。私も中断患者や伝わらないTBIに悩んだ経験があるが、今では私の担当する患者は再評価を楽しみに来院をし、SPT、メンテナンスにまでも自主的に来院を継続している。本講演では患者の来院の継続からホームケアという、患者の行動変容を伴った意識改革をどのように実現しているのかを、実際の症例を供覧し、ノウハウを共有できれば幸いである。

